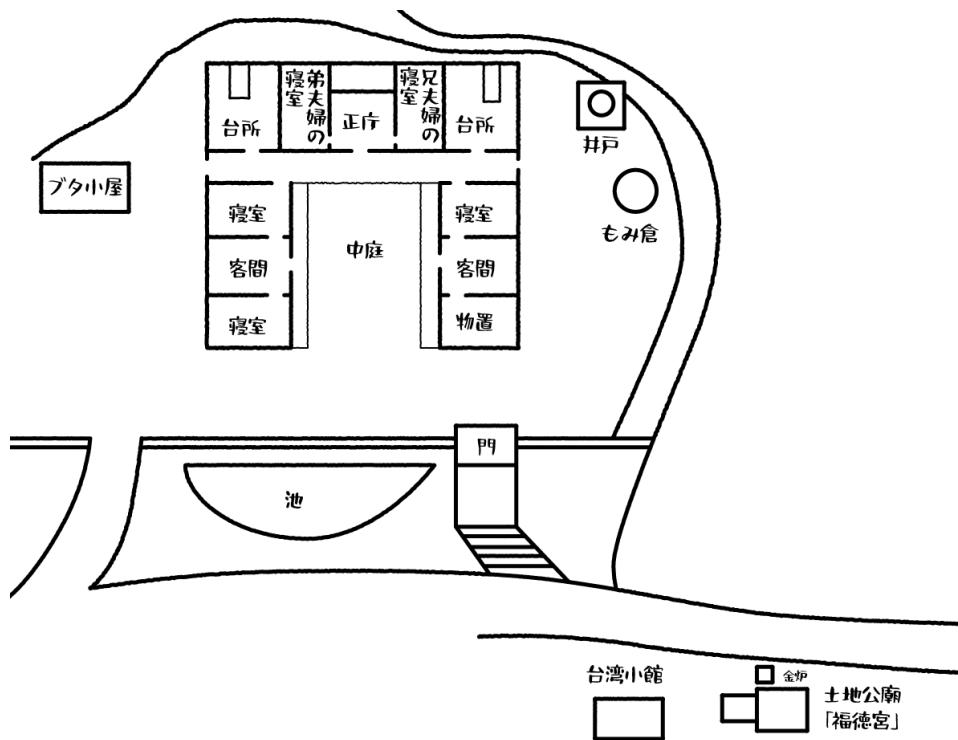


たいわん の うか  
台灣 農家

この家は中国大陸南部 福建省から 移住してきた 漢族の伝統的な農家を 復元したものです。中国南部の 建築様式の流れをくみながら、台湾の 風土に合わせ、熱帯の強い 日差しをさけるため、また暴風雨の 侵入を 防ぐため、壁を厚くし 柱廊 で家屋の前面をとりまき、屋根瓦を 漆喰で塗り 固めるなどの工夫があります。



【台湾の 土地公廟：福德宮】

「台湾 農家」の向かいにある建物は「福德宮」という名前の土地公廟です。福德正神土地公と呼ばれる神さまがまつられています。土地公は民間信仰における土地の 守護神です。

## 歴史と住まい：ふるさととのつながり

山がちな土地で 食糧 不足に苦しんでいた中国南部の人びとは、17世紀なかばから19世紀末にかけて、台湾に新しい農地を求めてたくさん移り住みました。この家は、そのような 福建系漢民族の伝統的な農家で、1917年に建てられた家をモデルとし、1950年代頃の生活を復元しています。

### 【三合院】

中庭を中心に三方に棟が並ぶ、このような建築形式を三合院と呼び、中国南部の流れをくむものです。中央の部屋 正厅では、祖先や 道教の神々をまつっています。正厅を背にして左手が 家長である兄夫婦の部屋、右手が弟夫婦の部屋で、左右から伸びる棟は、成長した子どもたちの部屋や農具置き場として使われます。こうした部屋 割りは、左を 優位とし、長幼の 序 (年上と年下の 序列や 順序のこと) を重んじる考え方に基づくもので、屋根の高さにも反映されています。また、赤レンガを 積みあげた壁や、素焼きの 瓦 を重ねた屋根なども伝統的な三合院の特徴です。



兄と弟、どちらの部屋の屋根が高いかな？正面からチェックしてみましょう。

### 【新天地で身を守る住まい】

台湾へ移住した人びとは、争いや 盗賊から身を守るために、家のまわりにトゲのある竹を植えました。また、窓を小さく、少なくし、さらにぶあつい木の 扉 に 頑丈 なかんぬき (扉が開かないようにする横木)をつけました。



ほかにも、悪霊の侵入をふせぐための工夫もあります。探してみましょう。

### 【風水思想】

古来より中国には、風水という理想的な環境を 定める考え方があります。家屋は南向きに建て、背後に山林をひかえ、前面に池(水)を配すると良いといわれます。家族の健康や、家の 繁栄を願う人びとは、風水師に相談し、地形や 方位を 鑑定してもらいます。